

# とらいあんぐる

# 2



「出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議」の愛称が

## とらいあんぐる

に決定しました！

Try (試みること)



Angle (視点)

トライアングル (三角) ⇒ 参画

男女共同参画をさまざまな視点から考え、多様な試みを実現できるようにという思いで名付けました。

## Contents

- イクボス活用セミナー報告 ... P.2
- 「いずも産業未来博2025」ブース出展報告 ... P.3
- イクボス宣言登録企業紹介 ... P.4  
(株式会社 総合技研設計)

## 会員募集中！

とらいあんぐるは、出雲市と協働で男女共同参画社会のまちづくりを行う「市民ボランティア団体」です。(年に2回程度の事業を開催) 職種、肩書き、年齢、性別も違う様々なメンバーと交流ができ、新しい人脈が繋がります。会費は無料。出雲市の団体・個人どなたでも入会できます。

お問合せ ☎ 22-2055  
(とらいあんぐる事務局)



とらいあんぐるHP二次元コード

## 令和7年度 事業報告

とらいあんぐる会長 川光 栄子

愛称が「とらいあんぐる」に決定し、これからこの愛称が広く親しまれることを願っています。

さて、令和7年度の大きな事業としては、「イクボス活用セミナー」と「いずも産業未来博2025」にブース出展したことです。

共に、男女共同参画社会のまちづくりに向けての一助となれば幸いです。



イクボス活用セミナーの様子



活動報告 ①

# イクボス活用セミナー

## 安心して話せる職場のつくり方

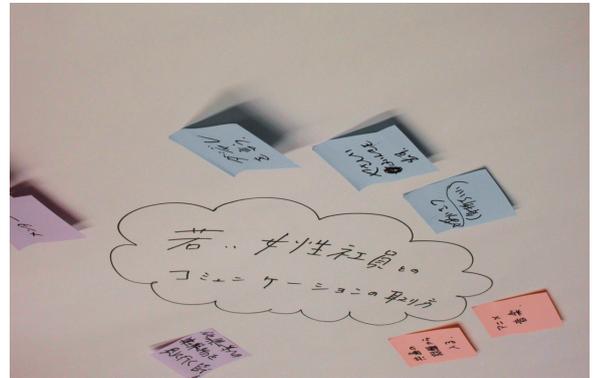
### ～信頼関係とチーム力を育てるコミュニケーション～

日時 | 2025年11月5日 (水)14:00~16:30

会場 | 出雲科学館 多目的室 2・3

参加者 | 企業経営者、管理職、人事担当者等 45名

本セミナーは、職場の信頼関係の重要性と、仲間を尊重するコミュニケーションの効果を知り、さらにハラスメントについて正しく理解することで「前向きな対話」の実践につなげることを目的に開催しました。



#### 第1部：現状を知り、職場改善の土台をつくる

Terrastory株式会社  
代表取締役CEO 社会保険労務士

寺本 健太郎 氏



職場におけるハラスメントの基本的な知識と法律上のポイントを、日本の文化的背景を元に解説。

さらに、声のトーン・態度・言葉の選び方など、日常に潜む「マイクロハラスメント」のサインを察知することの重要性を伝えていただきました。

コミュニケーションは血液と同じで、サラサラしていればトラブルは回避しやすい、という例えが印象的でした。

#### 第2部：ワールドカフェで築く職場の対話力

Terrastory株式会社 代表取締役CHO  
組織開発キャリアコンサルタント

寺本 直美 氏



グループごとに「職場のコミュニケーションの現状と課題」について話し合い、ワールドカフェ形式で参加者同士が意見交換ができる場を提供。

直美先生の明るいお人柄のおかげもあり、共通点探しの自己紹介やディスカッションも盛り上がっていました。

「安心して話せる職場」は「聴く・認める・支える」の連鎖から始まると仰っていました。

#### コミュニケーションワーク



共通点探しのワークは大盛り上がり。共通点が見つかったら親近感が湧き、意見交換もしやすくなるようです。

#### ワールドカフェ



ワールドカフェでは、グループごとに職場の課題についてディスカッション。以下のような課題が挙がっていました。

- ・若手社員とベテラン社員との考え方のギャップ
- ・若い職員が遠慮なく意見を言い合える職場とは
- ・個性を活かせる職場とは

#### アンケートより

- ★ 色々な職種・業種・立場の方の意見が聞けて参考になった。
- ★ 上司も変わっていく姿勢、同時に部下(若い世代)も変わっていく姿勢が大切なのかなと思いました。
- ★ 共通点を知ることで、相手とのコミュニケーションにも繋がると改めて思いました。

信頼できる上司・同僚となり、共に安心して話せる職場をつくる鍵は「対話」にありました。あなたもイクボス宣言をして、強いチームづくりに取り組んでみませんか？

# 「いずも産業未来博2025」 にブース出展をしました！



日時 | 2025年11月8日(土)、9日(日) 10:00~16:00  
会場 | 出雲ドーム  
主催 | いずも産業未来博実行委員会 / 出雲市  
来場者 | 16,000人 (2日間)



男女共同参画の啓発を行うため、いずも産業未来博のブースにて「男女共同参画クイズ」を行いました。

ブースには、2日間で676名（今年の2倍！）の皆さんが来てくださり、男女共同参画や「とらいあんぐる」についての質問もいただきました。

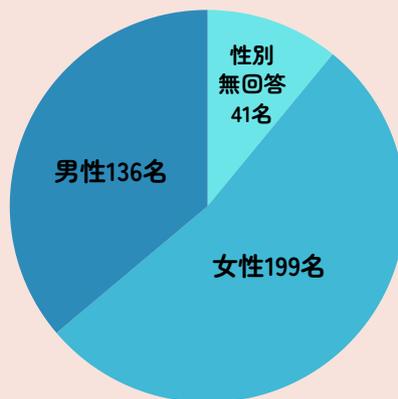
## 男女共同参画クイズ

○か×でお答えください

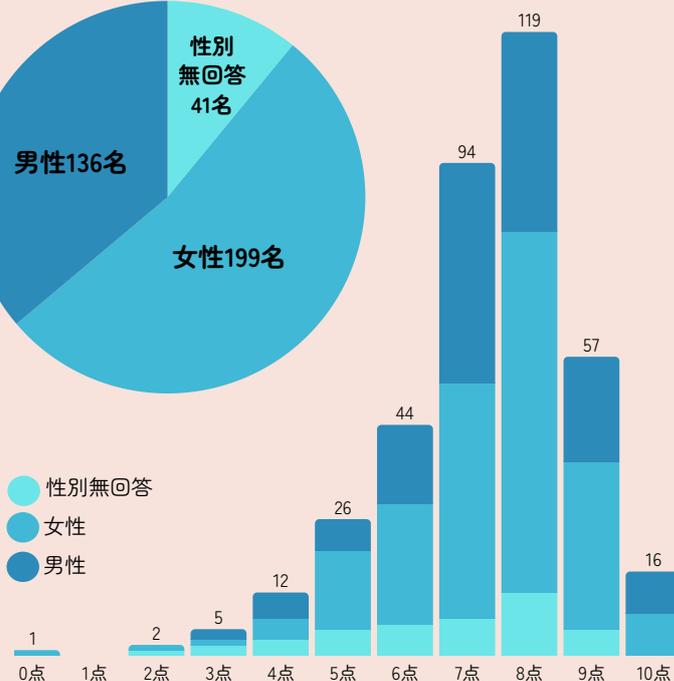
- 問1：小学校の校長先生は男性より女性が多い
- 問2：男性医師より女性医師の方が多い
- 問3：日本の歴代総理で女性はいない
- 問4：島根県の6歳未満の子どもを持つ夫の家事関連時間は1日平均2時間以下だ
- 問5：無意識の思い込みのことを「アンコンシャスバイアス」という
- 問6：ジェンダーとは、身体の性別のことだ
- 問7：仕事と生活の調和のことを「ワーク・ライフ・バランス」という
- 問8：積極的に育児をする男性のことを「イクボス」という
- 問9：2030年までに持続可能で、よりよい世界を目指す国際目標のことをSDGsという
- 問10：出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議の愛称は「すくえあ」だ

〈答〉 1. × 2. × 3. × 4. × 5. ○  
6. × 7. ○ 8. × 9. ○ 10. ×

クイズ回答者数



得点別正解者数



クイズ参加者へはマグネットクリップを贈呈。「これは使える〜！」と好評でした♡



国籍問わず、老若男女、沢山の方々に参加していただきました。



お母さん、お父さんがクイズをしている間お子さんたちにはお絵かきをしてもらい、風船をプレゼントしました。

「自分にも無意識の思い込みがあるんだ」ということに気付き、「男らしさ」「女らしさ」ではなく「自分らしさ」を大切に、お互いを尊重し合えると素敵ですね



技術力と人間力の向上を、  
誰もが共に目指せる  
職場づくりを進めます

代表取締役 岡田 昌樹 さん

出雲市では、市内にワーク・ライフ・バランスの機運を醸成させるため、令和4年度からイクボス宣言企業登録制度を創設し、イクボスに取り組んでいる出雲市の企業や事業所等をHPなどで紹介しています。

今回は、令和6年4月に出雲市イクボス宣言登録企業に登録された、株式会社 総合技研設計の岡田社長にお話を伺いました。

## 経営者が学び、変わる力 | 制度よりも意識と行動の改革

### イクボス宣言をしたきっかけは何ですか？

令和6年の出雲市イクボス養成セミナーへの参加がきっかけです。イクボスは育児に関する制度だと思っていましたが、イクボスを学べば学ぶほど、業績アップに繋がる仕組みだということが分かりました。

以前から完全週休二日制や時間休制度、リモートワーク導入など、働きやすい職場作りに取り組んできましたが、制度だけでは不十分であることに気づき、経営者や管理職が意識と行動を変え、社員と共に会社をより良くしていきたいと考えようになりました。



## 課題は成長の合図 | 可視化×言語化が生む社員の自発性と主体性

### イクボス宣言をされた後、何か変化はありましたか？

私自身が「指示する側」ではなく、チームで考え、支える立場であることを強く意識するようになりました。そこで力を入れているのが、ブランディング・業務効率化・コミュニケーションの3つを柱とした「アクションラーニング活動」です。

特に業務効率化では「業務の可視化」に取り組んでいます。業務フロー図を作成し、ベテランと若手の間に生じるノウハウ・スピードの差を埋め、時間の効率化と知識共有を行いました。両者が意見を出し合いながら図を作成し、完成後は発表の場を設け、自分の考えを言語化する機会としました。会社を多角的に見る視点が育ち、社員からの提案も増え、課題を前向きに共有できる社風が生まれました。



会議室に掲示されている業務フロー図  
STEP1~5まで、業務内容が細かく整理され、可視化されていました。  
業務のブラックボックス化を防ぎ、チームで仕事ができる仕組みがありました。

## 安心と感謝の心を育む「きっかけ」を提供 | 健康・成長・家庭を大切にする会社文化

### イクボスやワーク・ライフ・バランスの取り組みについて具体的に教えてください。

- ・完全週休二日制、時間休制度、リモートワーク導入
- ・クラウド管理、給与明細の電子化による業務効率化
- ・キャリアコンサルタントの委託による社員支援
- ・資格取得の推奨と助成制度、社内勉強会の開催
- ・管理職層への研修実施、就業規則の整備



### 親孝行手当(6月)、家族感謝手当(10月)の支給

それぞれプラス1万円を支給し、親や家族に感謝を伝える機会を提供。実践後は社内で発表してもらうことで、実践者も聴く側も、とても豊かな気持ちになるのだそうです。

### 健康診断の拡充(PET-CT・脳ドック全額会社負担)

40歳以上の社員が対象。検査を受けた社員から「家系的に不安だったが、何事もなく安心できた」という声を聞き、安心して働ける取り組みとして実施して良かったと実感されていました。

## 人財育成のその先へ | 性別、世代、分野を超えた未来への投資

### 今後さらに注力したいことや、新たに取り組みたいことはありますか？

今後は、人財育成と生産性向上をより強く結びつけていきたいと考えています。

出雲市のイクボス養成アドバイザー派遣事業による、外部講師を招いた研修を通じて、会社の方向性や課題が明確になりました。

弊社が最も大切にしているのは、人を育てることです。技術力だけでなく、「社会の役に立てる人」「周囲から信頼される人」を育てることが、企業としての使命だと考えています。

社員一人ひとりが自分の成長を実感し、社会やお客様の役に立っていると感じられること。その積み重ねが、結果として良い仕事、良い地域、良い未来に繋がると信じています。

### 株式会社 総合技研設計

所在地：出雲市渡橋町  
業種：学術研究・技術サービス業  
役員：5名(女性1名・男性4名)



従業員：15名  
正規社員 11名  
(女性6名・男性5名)  
非正規社員 4名  
(女性3名・男性1名)